

H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)

施設名	三の倉市民の里	文化会館	学習館
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	人と自然とのふれあいの中で、青少年の健全育成を図るとともに、広く市民の生涯学習を推進するための宿泊研修施設。	市民の文化、芸術及び教養の向上並びに福祉の増進を図るための施設。	市民一人一人の学習・文化活動を支援促進するとともに、生涯学習に係る事業の有効的な実施の推進を図ることにより、市民文化の向上に寄与するための施設。
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好
	市事業の実施	良好	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好
	備品管理	良好	良好
	その他管理	期待以上	期待以上
収支状況(円)	総収入	49,749,180	188,899,103
	内利用料金収入	7,592,447	29,345,589
	内指定管理料	39,970,000	102,800,000
	支出	45,132,655	178,077,138
	収支	4,616,525	10,821,965
市民利用者の声の反映	良好	期待以上	良好
	良好	期待以上	期待以上

全体的評価	・家族で自然体験する場所を提供する年間事業「どんぐりくらぶ」は、家族間の仲がより深まる良い機会となり、参加者からは喜びの声が多数聞かれた。 ・2012年が「金環日食」現象のある年であったことから、平日にも関わらず約100名以上の参加があり、宇宙への関心が高まる良い機会となった。 ・宿泊体験事業として「天体キャンプ」を実施するなど、新しい事業を積極的に展開した。 ・施設の有効利用を高める事業を積極的に行い、新しいユーザーを獲得することができた。	・避難訓練コンサートを実施したことにより、職員、観客の防災意識が飛躍的に向上した。 ・清掃時間の増加、及び効率的なフレックスタイムを導入した。 ・広報スペースの拡大、デジタルサイネージの導入など、情報サービスを充実させた。 ・市民参加型事業「たじみ音楽祭」の新設やアウトリーチの教育的アプローチなど新規事業に取り組んだ。 ・郷土愛を育む市民創作事業「たじみ街ダンス」「ことばの劇場」を実施を継続して実施した。 ・日本の伝統芸能「能・狂言：観世流鍔仙会」を実施し、好評を得た。 ・鑑賞プラス体験の定番化や充実のワークショッププログラムを実施した。 ・駅北アートプロジェクトを指導し、多治見駅から文化会館のアート作品展示を実施し、文化会館周辺のアートマップも作成することができた。 ・地元アーティストの育成事業を実施し、アウトリーチアーティストとして登用、活躍の場を提供した。 ・高位安定した運営ができており、事業についても期待以上の成果を上げている。	・これまで10社と別々に委託していた維持管理・保守点検業務を、総合的にマネジメントができる1社に一元化し、施設全体を横断的に眺めながら現状把握・分析ができる体制を継続実施した。 ・市からの要請にこたえ、人工知能による空調制御システムを導入し、積極的に電力量削減に取り組んだ。 ・建築から16年を経過した建物の持続可能な維持管理を行うために、館内の諸設備の大規模な劣化診断を実施し(設備劣化診断報告書としてまとめ)、客観的に諸設備の稼働状況や劣化の把握に努め、建物の効率的かつ総合的な維持管理を行える体制を構築した。 ・昨年度から引き続き、図書館郷土資料室と連携し、収蔵資料を活用し、「見る」「知る」「学ぶ」の視点から多治見の地域資源を見つめ直す講座を実施した。 ・1階ロビー等を利用した事業展開をさらに充実させ、年間26事業(全32回)実施した。 ・桔梗大学の講座の一部を、年齢等にかかわらず誰でも受講できる講座として一般公開し、桔梗大学のPRと市民の学習機会拡充を図った。 ・学習館がコーディネート役となり、市民病院の医師による健康医療講座を市内9会場で開催したほか、市内民間事業者の協力のもと、夏休みの子ども職業体験講座「たじみごっこ」を開催した。さらに、まなびパークたじみが位置する駅南地区の商店街を会場にした事業を実施した。 ・受講者が定着している講座は活動の自立化を促し、24のサークルが誕生した。一方で、市民のさまざまな学習意欲に応えるため、アドバイザーの発掘に努め、オープンキャンパスの理念や仕組みを伝える場であるアドバイザー説明会を40回実施した。 ・公民館を統括し、一体となって市の生涯学習の推進に大きく寄与している。 ・維持管理、事業ともに期待以上の成果が上がっている。
利用人数・前年度比増減率	延べ24,270人 (前年度比0.5%増)	延べ190,185人 (前年度比10.6%減)	延べ111,734人 (前年度比6.1%増)
増減の理由	特になし	施設の利用率が増加したが、全体の利用人数は減少した。	オープンキャンパス講座出身のサークルの利用者が増加したことや、桔梗大学の講座を一般公開するなど、学習機会の拡充が要因。
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)			
施設名	図書館・子ども情報センター	旭ヶ丘公民館	市之倉公民館
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上

施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	133,629,675	19,534,590	20,146,430
	内利用料金収入	—	—	—
	内指定管理料	132,500,000	18,902,500	18,805,000
	支出	133,237,385	17,436,310	17,177,446
	収支	392,290	2,098,280	2,968,984
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		期待以上	良好	良好
		○図書館本館 ・図書館司書と美術館の学芸員がそれぞれの立場から資料について解説するおはなし会を実施し、この企画から新規利用者層を取り込むことができた。 ・本棚にスマートフォンで読み取りできるタグを取り付け、特定のテーマの本について所蔵状況を検索できるようにした。また本とインターネットの関連ページをリンク表示させ双方向からの情報を得られるようにした。 ・郷土資料室によく寄せられる質問を題材にして、郷土資料室のPRポスターを作成し市内公共施設に加え、観光案内所に掲示した。多治見を訪れる観光客やボランティアガイドに向けても郷土資料室の活用方法をPRした。 ・昨年度から郷土資料室が継続的に実施しているレクチャー付きウォーキング講座と資料展示を実施した。さらに参加者が受講中に撮影した画像を、キャプションを付けてインターネット上で公開し、郷土資料に触れる機会を提供した。 ・地域情報コーナーにラックを設置し多治見の歴史、生活、文化情報を集約したコーナーを新設した。地域の情報源として提供でき、継続的に資料を収集することで、図書館の地域資料として蓄積できた。 ・シニア層利用者の増加や視覚障がい者に対し、録音テープ図書の貸し出しや、大活字本の有効活用を図った。 ○子ども情報センター ・夜間開館の対応として、24時間体制の機械警備、非常通報システムを導入した。 ・「たじみオープンキャンパスU-19」「ブックメイト読み聞かせGO」「子ども夢ネット表紙のデザイン」「部活サポート活動」等で中学生や高校生が日頃の成果を発表したり、得意な分野を活かして活躍したりできるような場面を創り出すことができた。 ・「本との魅力」をより効果的に伝えるために、絵本と子どもをつなぐ事業を開催した。 ・多彩なプログラムの提供と一人ひとりの意欲に応えるサポートで、魅力ある学習機会を提供し、貸出人数、貸出冊数の増加につながった。	・様々な問題を抱える地域の中で頻発するトラブルに対し、適切に処理している。 ・公民館での出会いをきっかけに、地域の人と人との新しいつながりが生まれ、利用率アップにつながった。 ・男性が参加しやすい講座を企画し、地域での交流促進をすすめることができた。 ・「寺子屋」事業では、放課後の子どもの居場所づくりに貢献することができた。 ・ロビーがない施設なので、ローカギャラリーを開催し、新しい利用者の来館促進につながった。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・毎年右肩上がりで、部屋の利用・使用料収入が上がっているのは、継続的に主催講座をサークルに移行した結果である。 ・平成22年度より「男塾」と称した講座を企画し、その中で自主運営できる講座をサポートした結果、シニア男性中心のサークルが立ち上がった。 ・学校5日制への対応が目的で誕生した「ふるさと楽園」が10年目を迎え、地域の方が野外教室をより安全に進行できるよう協力し、企画にも参加してくれるようになった。 ・ブログやツイッターを利用し、リアルタイムの情報発信をしている。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。
利用人数・前年度比増減率		本館：延べ163,819人（前年度比3.1%減） 子ども情報センター：延べ 8,508人（前年度比6.4%増）	延べ48,944人 （前年度比2.5%増）	延べ31,882人 （前年度比7.6%増）
増減の理由		特になし	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	養正公民館	南姫公民館	脇之島公民館	
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。			

報告書類等の提出状況		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	期待以上	良好
	市事業の実施	期待以上	期待以上	期待以上
	自主事業	期待以上	期待以上	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	21,035,378	21,081,681	20,298,216
	内利用料金収入	－	－	－
	内指定管理料	19,284,000	20,119,500	18,923,500
	支出	18,860,747	19,236,550	17,952,509
	収支	2,174,631	1,845,131	2,345,707
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		良好	期待以上	良好
	・地域の幼・小・中・高校や青少年まちづくり市民会議と連携し、充実した事業を継続的に実施している。 ・特色ある事業で、地元出身のアーティストのコンサートや雅楽の夕べなどを開催し、新規参加者を増やすことにつながった。 ・昨年度より新規に開催した「養正元気サロン」「ひよこのひろば」を重点事業として展開し、広がりど定着を見せた。 ・たじみオープンキャンパス講座からのサークル発足や子育て世代の利用の増加などから、館全体の利用率が上昇したとともに使用料収入も増加した。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・スローライフ事業で自由菜園“菜っぱ会”を立ち上げ、団塊世代対応として好評であった。 ・狙い通り自主的なスローライフ事業の拡大が図れた。（前年度比1.5倍の43区画に拡張） ・団塊世代の来館を促進し、地域団体と連携して事業を開催したため、利用者数が大幅に増加した。 ・オリジナル教材で、万葉の世界を楽しめる講座を実施し、受講者の満足は高く25年度も継続して開講中である。 ・夏祭りへの出店参加と敬老会のアトラクションプロデュースを行い地域の方々に喜ばれた。 ・子育て・親育ち支援事業及び健康・防災・放射線等の今日的課題への対応として、各部門と連携して全13回の講義や説明会等を実施した。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の意見や要望に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・施設の利用件数が増加し、特にホールの利用件数が100件以上増加した。運動系講座がサークル活動へと定着したことによるもので、使用料収入増加にもつながった。 ・高齢化によって継続が難しいサークルを支援する目的で体験講座を開催し、会員募集に効果的な取り組みとなった。 ・和室にホワイトボードと座椅子と机を整備することで、研修室と同様の需要にも応えることができ、利用率も増加した。 ・地域団体と連携し、市民のニーズに沿った事業を開催することができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	
利用人数・前年度比増減率		延べ50,252人 (前年度比0.3%減)	延べ46,187人 (前年度比6.5%増)	延べ28,023人 (前年度比2.4%増)
増減の理由		特になし	団塊世代の来館を促進する事業の展開や、積極的なギャラリー展示で、各新聞社に年間26回も掲載してもらうことができ、来館者の増加に寄与した。	特になし
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名		小泉公民館	精華公民館	
指定管理者名		(公財)多治見市文化振興事業団	(公財)多治見市文化振興事業団	
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的		地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。		
報告書類等の提出状況		良好	良好	
	利用状況	良好	良好	

運営・利用状況	市事業の実施	期待以上	期待以上	
	自主事業	期待以上	期待以上	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	21,276,690	21,690,930	
	内利用料金収入	－	－	
	内指定管理料	20,396,500	20,710,000	
	支出	19,559,097	20,140,442	
	収支	1,717,593	1,550,488	
市民利用者の声の反映		良好	良好	
全体的評価		良好	良好	
	・企画した講座が同好会へとつながり、新規同好会も7つ誕生し、利用率がアップした。 ・地域機関や青少年まちづくり市民会議との事業が定着し、あらゆる世代が公民館でつながりを深めている。 ・文化会館との連携などでコンサートを始め地域の人に好評を得た。 ・安心・安全な空間づくりを心がけ、継続的に環境改善を行い、快適な居場所作りを心がけた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。	・「精華公民館・地域の祭典」を年4回開催し、地域住民が集い交流できる公民館となるよう努めた。秋に開催した「ハワイアンフェスティバル」は、140名の参加者があり大盛況だった。 ・「とっくり」「湯たんぽ」工場の見学を入れた秋のウォーキングは、地場産業の陶磁器を知ることができた。 ・男性が地域にでることで仲間作りができるよう「卓球講座」を開催し、講座終了後は、同好会となり、男性の活動の場所となった。 ・「多治見子ども権利の日」協賛事業として愛児幼稚園と共催し「ささえあう心の講座」を行った。新しい試みとして小学生親子を対象に「自分を大切にすることを育む講座」を開催し、幼児、小学生の親子に心について考えてもらえる良い機会となった。 ・精華小学校、陶都中学校の子どもたち23名が「子どもぼらんていあキッズ」に登録し、公民館ボランティアとして活躍した。今年度は、地域の介護施設を訪問するなど活動の場を広げ、地域住民とふれあうことで、自主性・協調性を養うことができた。 ・設備の故障等に対しては迅速な修繕を行っている。 ・利用者の要望や苦情に真摯な態度で対応し、迅速に処理している。 ・全体的な施設の管理運営については、概ね良好に行なわれている。		
利用人数・前年度比増減率	延べ51,667人 (前年度比4.8%増)	延べ62,393人 (前年度比6.2%増)		
増減の理由	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。	特になし ※衆議院選挙・岐阜県知事選挙の関連で利用者が増加したことも一因と分析。		
H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設(指定公園については、同課及び緑化公園課所管))				
施設名	指定公園及び運動場 ※H23年度指定替えにより笠原運動場・公園追加	総合体育館	平和マレットゴルフ場	
指定管理者名	株式会社 コパン	株式会社 コパン	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	

設置目的		市民の健康の増進を図るための運動場等。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与するための施設。	スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。
報告書類等の提出状況		良好	良好	若干不備あり
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	若干不備あり
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	87,356,255	72,927,988	1,780,506
	内利用料金収入	21,594,854	13,632,908	573,550
	内指定管理料	63,847,000	53,153,000	1,144,000
	支出	86,529,968	67,353,940	1,766,815
	収支	826,287	5,574,048	13,691
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		良好	良好	良好
		○屋外体育施設 ・体育施設の維持管理は、星ヶ台競技場芝生管理で不十分な点が見られたものの、概ね良好に実施されている。 ・笠原地域の体育施設では、積極的にニーズ把握のためのアンケート調査を行っている。 ・自主事業については、星ヶ台競技場無料開放の運営を見直し、種目協会等の団体と連携しながら工夫して事業が行われている。 ・ぎふ清流国体では、市と協力して大会準備・運営に取り組み、大会の成功に寄与できた。 ○指定公園 ・指定公園全体として施設の維持管理は、適切に行われている。 ・専門業者による遊具の点検結果をうけ、危険性のあるものを指定管理者にて利用を停止とするなど、主体的に事業執行していることは評価できる。今後、点検結果に基づいた修繕計画を立て、必要性の高いものから順次修繕を実施するよう努めてもらいたい。	・利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズの把握に努めている。設備器具等の修繕や要望・苦情への対応は、利用者に迷惑がかからないよう迅速に行われており、利用者の満足度にも反映されている。 ・接遇等の職員研修は、アルバイト含め、全社員に対して積極的に行われている。 ・市の事業を受託するなどして、積極的に市と協力・連携して運営されている。 ・ぎふ清流国体では、市と協力して大会準備・運営に取り組み、大会の成功に寄与できた。 ・事故発生においては受傷者に対し的確に対応している。 ・国体により利用できない期間は、笠原体育館と連携して利用者への対応を図ることができた。 ・館内清掃は行き届いており、清潔性が維持されている。	前指定管理者から引き継いで、2年目の管理運営を行っている。 ・施設の受付、整備については、通常は有償ボランティアが交代で対応して行われている。 ・指定管理者が行うべき施設修繕整備について、市の協力を得て修繕計画を検討中。 ・施設の利用向上のための課題を把握し、関係機関への働きかけや利用者の意見を反映させる方法を市とともに検討している。 ・定期大会の開催により、利用者同士のつながりが広がるなど、リピーターの確保に努めている。 ・アンケートの結果、利用の満足度では、「満足」が81.3%あり、「普通」17.2%と合わせると、98.5%が全体的に良好としている。
利用人数・前年度比増減率		延べ190,964人 (前年度比9.7%減)	延べ160,039人 (前年度比1.4%増)	延べ2,006人 (前年度比4.5%減)
増減の理由		特になし	特になし	特になし

H24年度総合評価(文化スポーツ課所管施設)				
施設名	笠原中央公民館		図書館笠原分館	笠原体育館
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団			
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)			
設置目的	地域住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設。	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設。	市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、もって市民の心身の健全な育成に寄与することを目的とする。	
報告書類等の提出状況	良好			
運営・利用状況	利用状況	期待以上		
	市事業の実施	期待以上	良好	良好
	自主事業	期待以上	良好	期待以上
施設管理状況	施設管理	良好		
	備品管理	良好		
	その他管理	良好		
収支状況(円)	総収入	117,890,217		
	内利用料金収入	8,513,510		
	内指定管理料	99,974,000		
	支出	112,347,006		
	収支	5,543,211		
市民利用者の声の反映	良好			
全体的評価	期待以上			
	○中央公民館 ・長期間にわたる市民参加事業への取り組みを運用の柱にし、利用者と密接な関係を築くなかで、利用者とともに快適な施設環境づくり、親しみのある施設づくりを進めることができ、結果的に利用率、利用者数の大幅な増加につながった。 ・市民文化祭の継続的实施や利用者への細やかなケアをすることにより「またアザレアホールで演奏したい」との要望が上がるようになり、利用へと結びつけることができた。 ・地域団体と連携し、笠原地区の地域性を十分活かした事業を実施することができ、期待以上の成果を上げることができた。 ○図書館分館 ・定期的に企画展に取り組み、「いつも新しいことが発見できる」図書館を目指すことができた。 ・中央公民館や体育施設と図書館職員と連携し、図書館から施設の取り組みを発信するようにしている。 ・子育て支援センターにおいて、図書館笠原分館で開催している「おはなしの会」をボランティアと連携して実施し、定期的なおはなしの会を開催することができた。 ○体育館 ・利用者へのサービスを第一に考え、市民ニーズ事業展開を心掛けるとともに、苦情にも真摯に対応している。 ・安全性、機能性の観点から設備等の修繕や整備について積極的に対応している。 ・トレーニング室では利用者対象のプログラムを提供するなどして利用者を増加させ、リピーターとして定着させている。			
利用人数・前年度比増減率	延べ60,630人 (前年度比42.6%増)	延べ12,812人 (前年度比3.2%増)	延べ71,900人 (前年度比0.3%増)	
増減の理由	東濃合唱祭や合唱団の定期演奏会、市民参加型音楽劇の開催など「アザレアホール」の使用が大幅に増加したため。	特になし	特になし	

H24年度総合評価(くらし人権課所管施設)		
施設名	市民活動交流支援センター	
指定管理者名	(公財)多治見市文化振興事業団	
指定期間	4年(H22/4/1～H26/3/31)	
設置目的	市民が自発的に行う公益性のある活動で営利を目的としないものの実施に係る市民交流の場を設け、もって市民活動を支援するとともにその健全な発展の促進に寄与することを目的とする施設。	
報告書類等の提出状況	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好
	市事業の実施	良好
	自主事業	良好
施設管理状況	施設管理	良好
	備品管理	良好
	その他管理	良好
収支状況(円)	総収入	5,434,310
	内利用料金収入	—
	内指定管理料	5,398,000
	支出	5,339,446
	収支	94,864
市民利用者の声の反映	良好	
全体的評価	良好	
	交流支援センター移転に際し、指定管理者が関係団体と連携を図ったことにより、新しい団体との結びつきができた。結果、男性や若者の事業参加や立ち寄りが増えた。	
利用人数・前年度比増減率	延べ6,863人 (前年度比32.2%増)	
増減の理由	移転後に増加。理由としては、移転PRと併せて新規事業等の啓発をしたこと、また、学習館自体の来館者が多いことがある。	

H24年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	大原児童館	本土児童館	共栄児童館	旭ヶ丘児童センター	根本児童センター	
指定管理者名	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	2年(H23/4/1～H25/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	若干不備あり	
	自主事業	良好	良好	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	9,834,500	9,295,850	11,009,460	11,342,940	10,447,582
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	9,578,000	9,083,000	9,927,000	11,155,200	10,152,000
	支出	9,817,849	11,010,262	10,341,618	11,549,957	10,974,529
	収支	16,651	▲ 1,714,412	667,842	▲ 207,017	▲ 526,947
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	良好	若干不備あり	良好	
	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 来館者数の増加、参加者の満足度、地域との連携など、全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を概ね適正に執行しているが、一部参加者が無く、実施できない事業があった。 参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、ニーズの把握、地域との連携など全体的に概ね良好である。	
利用人数・前年度比増減率	延べ16,882人 (前年度比1.3%減)	延べ10,297人 (前年度比12.6%減)	延べ10,480人 (前年度比6.7%増)	延べ17,400人 (前年度比2.2%減)	延べ21,292人 (前年度比9.2%減)	
増減の理由	平成23年度に利用していた中学生が卒業し、利用人数が減少したため。	乳幼児親子の利用及び幼稚園降園後の一輪車練習に来館する幼児親子の減少による。	特に児童の利用数が増え、児童を対象とした行事を増やしたり、移動児童館を行うことで、児童館を知り、来館に繋げることができたことが要因となったと考えられる。	特になし	小学校の下校時間が遅くなり低学年の来館者が減少、それにより、送迎の保護者が児童センター内へ入って過ごすことが減り、大人の利用者が減少した。(平均1日7名減少)	

H24年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	坂上児童館	中央児童館	笠原児童館	市之倉児童センター	脇之島児童センター	
指定管理者名	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	
	自主事業	良好	良好	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	9,571,250	9,571,250	13,360,743	9,571,250	9,571,250
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	9,571,250	9,571,250	13,360,743	9,571,250	9,571,250
	支出	9,852,921	9,488,345	14,033,144	9,745,545	10,174,735
	収支	▲ 281,671	82,905	▲ 672,401	▲ 174,295	▲ 603,485
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	良好	良好	良好	
	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。 参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	
利用人数・前年度比増減率	延べ13,549人 (前年度比13.2%増)	延べ16,721人 (前年度比62.8%増)	①笠原児童館 延べ18,443人(前年度比30.0%増) ②親子ひろば 延べ6,861人(前年度比38.6%増)	延べ9,242人 (前年度比7.6%増)	延べ21,135人 (前年度比21.4%増)	
増減の理由	大人の来館者数の増加については、地域の行事の参加及び、共催事業の増加、乳幼児親子の来館数の増加のためと考えられる。	午前中と夕方とで1日2回みえるなど頻度が多くなったため。また、近隣の保育園、幼稚園の年長の園児とその保護者へ向け、卒園前に宣伝したところ、新小学1年生の利用が増えたため。	児童館、親子ひろば、ともに施設が認知されてきた。また、児童館は、中高生主体の事業に力を入れた事が来館につながった。	乳幼児クラブの参加者が全体的に増えたこと、夏頃からの地域との連携により、関係が良好になったことなどによる。	地域での保護者同士のネットワークが強く、お互いに誘い合うことにより来館者が増加したと思われる。	

H24年度総合評価(子ども支援課所管施設)					
施設名	発達支援センターなかよし	発達支援センターひまわり	池田保育園	旭ヶ丘保育園	
指定管理者名	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)いしずえ会	(福)前畑育英会	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)	
設置目的	心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。		保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とする。		
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	
	自主事業	良好	良好	—	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	39,362,850	39,313,860	108,649,201	140,512,743
	内利用料金収入	—	—	3,874,570	5,576,577
	内指定管理料	39,242,000	39,242,000	101,954,410	105,117,190
	支出	41,898,219	39,600,182	107,379,253	137,147,392
	収支	▲ 2,535,369	▲ 286,322	1,269,948	3,365,351
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	若干不備あり	良好	
	・協定書に基づき、事業が適正に執行されている。提出書類等についても期限を遵守している。 ・ニーズの把握、事業への反映について、積極的に取り組んでいる。	・協定書に基づき、事業が適正に執行されている。提出書類等についても期限を遵守している。 ・ニーズの把握、事業への反映について、積極的に取り組んでいる。	食育への取り組みや、障がい児保育にあっては、障がいや弱さを持った子だけを集めた「保育」の実施という視点にとどまることなく、一人の入所児としてみな同じクラスでの生活を保障した保育を実施されていると評価できる。一方、事故や苦情への対応については、保護者からの通報ではじめて判明するケースや、市への報告がない案件が散見されるときにも、保護者に対する説明が十分に行われていないために苦情に発展しているとも考えられる。また、昨年度の事業評価において「来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項」に記載したとおり、多治見市として取り組んでいる事業や園児と小中学生の交流事業にも積極的に取り組んでいただきたい。 平成24年11月26日付多子第1673号指定管理業務に係る改善指示書に従って取り組むこと。	指定管理3年目、指定管理制度による園運営も軌道にのり、保育環境を向上させるための職員の配置、環境整備などを行い、保育を実施されている。保育の質を維持向上させるため、保護者からの意見聴取およびその対応、正規職員の配置や資質向上に配慮されており、この状況を継続し運営していただくことを期待する。 また、平成24年12月11日(火)全国保育士養成協議会児童福祉施設福祉サービス第三者評価機関(HYK)による第三者評価訪問調査(ヒアリング等)を受検。この結果を今後の園運営に有効活用されるよう要望する。	
利用人数・前年度比増減率	延べ4,440人 (前年度比9.4%減)	延べ3,945人 (前年度比8.6%増)	延べ1,115人 (前年度比7.2%減)	延べ1,599人 (前年度比2.6%減)	
増減の理由	特になし	特になし	低年齢児の入所希望が多くなってきていることによる。	低年齢児(1,2歳児)の受け入れは、年を通してほぼ定員一杯。園全体では、平成23年度定員に対し86%程度であったものが、平成24年度定員に対し83%程度の入所となった。	

H24年度総合評価		(福祉課・高齢福祉課・子ども支援課所管施設)	(高齢福祉課・子ども支援課所管施設)	(高齢福祉課・子ども支援課所管施設)
施設名		総合福祉センター	サンホーム滝呂	ふれあいセンター姫
指定管理者名		(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)
設置目的		児童、老人、障がい者、母子家庭等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。	児童、老人等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに市民の福祉活動を助長し、福祉の増進を図るための施設。
報告書類等の提出状況		良好	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好
	自主事業	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	113,730,686	33,421,033	33,367,621
	内利用料金収入	—	1,859,480	1,538,010
	内指定管理料	107,937,200	31,550,000	31,818,000
	支出	103,555,827	35,123,235	34,298,046
	収支	10,174,859	▲ 1,702,202	▲ 930,425
市民利用者の声の反映		良好	良好	良好
全体的評価		良好	良好	良好
		・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・駐車場の不足への対応について、日頃から近隣事業所との協力態勢により利用者ニーズに添えている。 ・実施事業については課題の認識や利用状況の分析により、改善・工夫して実施されている。 ・小規模修繕について、協議のうえ、実施されている。 ・教室の利用者分析が的確にされており、早急に対応されるなど、需要に沿った運営が評価できる。	・協定書に基づき、事業を適正に執行している。 ・地域に根ざした施設を目指し、地域と良好な関係を築けている。	・地域密着を旨に各自治組織や学校や公共施設と連携を取っており、様々な事業への参画をしている。 ・児童センターでは、子どもスタッフの活動から始まった被災地支援が現在も交流が続いており、今後も継続して行き、日本一暑い町からエールを送っている。また中学生ボランティア活動に力を入れ、夏季休暇のボランティア体験が好評だった。 ・老人センターでは、教室やクラブ活動へ力を入れるとともに、移動老人センターとして地域に出向く事を積極的に行っている。
利用人数・前年度比増減率		老人福祉センター：70,603人（前年度比8.2%増） 障害者福祉センター：4,610人（前年度比3.1%減） 児童センター：30,499人（前年度比11.4%減） 母子福祉センター：4,637人（前年度比11.5%減） 会議室：35,560人（前年度比7.1%減）	部屋使用0人（前年度比 全減） 老人センター：27,710人（前年度比4.4%増） 児童センター：15,721人（前年度比4.6%減） その他：765人（前年度比100.8%増） 総合計：44,196人（前年度比1.5%増）	部屋使用：173人（前年度比16.8%減） 老人センター 10,372人（前年度比15.7%減） 児童センター：12,177人（前年度比22.4%減） その他(施設見学)：77人（前年度比5.5%増） 合 計：22,799人（前年度比19.4%減）
増減の理由		利用形態は変更ないが、老人福祉センターは利用者が増加しているが、障害者福祉センター、児童センター、母子福祉センターは利用者が減少している。	・部屋使用0人については、夜間利用(毎週月曜日)していた健康体操サークルが廃止となったことによる。 ・老人センターの増加は、個人利用の増加が主な要因。 ・児童センターの減少は、乳幼児クラブ参加者の減少が主な原因。	児童センターの利用者数の減少は、23年度7月に南姫小の学童保育が創設されたことに伴い、帰宅途中の利用者が減少したこと等によるもの。

H24年度総合評価		(福祉課所管施設)	(高齢福祉課所管施設)	
施設名		かさはら福祉センター	高齢者能力開発研修センター	
指定管理者名		(公社)多治見市シルバー人材センター	(公社)多治見市シルバー人材センター	
指定期間		5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)	
設置目的		老人、障がい者等に対して各種の福祉サービスを提供するとともに、市民の福祉活動を助長し、市民福祉の増進を図るための施設。	高齢者に就業の機会を提供するとともに、高齢者の生きがい活動を推進するための施設。	
報告書類等の提出状況		若干不備あり	若干不備あり	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	
	自主事業	—	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	25,239,000	2,596,000	
	内利用料金収入	—	—	
	内指定管理料	25,239,000	2,596,000	
	支出	25,512,667	2,367,506	
	収支	▲ 273,667	228,494	
市民利用者の声の反映		良好	良好	
全体的評価		若干不備あり	良好	
		・事業収支が赤字となっている。 ・節電に努め、省エネを実践している。 ・事業は医療機関、地域福祉協議会、多治見警察署等と連携し、高齢者のニーズに応えている。 ・小規模修繕について、協議のうえ、実施されている。 ・前年度指摘事項となっていたホームページの作成が未着手となっている。	・協定書に基づき、事業を概ね適正に執行している。 ・限られた予算内で、事業を適正に執行しており、評価できる。	
利用人数・前年度比増減率		延べ21,094人 (前年度比2.6%減)	延べ2,999人(相談者等を含む。) (前年度比21.4%減)	
増減の理由		一般利用者の減少による。(集会室等の利用は増加)	平成22年度に多治見公共職業安定所の出張無料職業紹介所を閉鎖してから、利用者が減少。	

H24年度総合評価(産業観光課所管施設)				
施設名	産業文化センター	美濃焼ミュージアム	文化工房	勤労者センター
指定管理者名	(株)ビーウェル	(公財)多治見市文化振興事業団	(株)共栄電気炉製作所	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	3年(H24/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	3年(H24/4/1～H27/3/31)
設置目的	産業及び生活文化に関する事業の実施及び生活情報等の提供により、産業の振興を図り、市民の生活文化の向上に寄与するための施設。	美濃焼の歴史及び文化に関する資料の収集、保存、広く一般への公開、周知により、市民文化の向上及び産業振興に資するための施設。	ものづくりと人の交流の場の提供を通して、来訪者の誘致を促進し、中心市街地の活性化に資するための工房・ギャラリー。	勤労者の福祉の増進を図るための施設。
報告書類等の提出状況	良好	良好	若干不備あり	良好
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	期待以上
	市事業の実施	良好	—	—
	自主事業	若干不備あり	期待以上	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	74,255,172	31,113,944	30,198,639
	内利用料金収入	12,558,272	2,243,510	1,154,725
	内指定管理料	61,000,000	27,441,000	17,725,000
	支出	72,316,040	23,548,823	28,865,842
	収支	1,939,132	7,565,121	1,332,797
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好
全体的評価	良好	良好	良好	良好
	全体的に適正に管理がされている。	当館は岐阜県から多治見市に移管され、平成24年度より新たに指定管理者による運営が始まった。積極的なPR活動やホームページの充実など指定管理者の運営努力の結果、入場者数の増加が見られる。	全国の著名な陶芸家を招いて魅力ある企画展を開催している。企画展ごとに行うシンポジウムでは毎回150～200人の聴講者があり、年間の来場者数も20,000人以上の高水準を維持しているなど、やきもののまち多治見の観光拠点の一つとして有効に機能している。 また、「アートフェア東京2013」出展やヴィクトリア&アルバート美術館(イギリス)への作品納入など、国内全域や海外に向けても当地の現代陶芸の水準の高さを発信する役割をも果たしている。	概ね良好である。 常にきちんと清掃されており、施設内が明るく感じられる。ロビー展も活発に行われており、利用率アップにつながっている。
利用人数・前年度比増減率	延べ85,666人 (前年度比1.7%増)	延べ10,962人 (前年度比—)	延べ22,192人 (前年度比1.3%増)	延べ25,469人 (前年度比8.7%増)
増減の理由	会議室等の利用人数の増加による。	※平成24年度指定管理開始施設	特になし	ロビー展等の取り組みの成果などによるもの

H24年度総合評価(道路河川課所管施設)		
施設名	土岐川観察館	駐車場
指定管理者名	河川自然環境保全復元団体 リバーサイドヒーローズ	(公財)多治見市文化振興事業団
指定期間	5年(H21/4/1～H26/3/31)	3年(H24/4/1～H27/3/31)
設置目的	土岐川の自然及び文化を活用し、市民の土岐川に対する関心を高めることにより、親しみのある河川づくり及び河川環境の保全を図ることを目的とした施設。	道路環境を整備し、交通に係る事故の防止と交通の円滑化を図り、かつ利用者の利便の増進に資するため。
報告書類等の提出状況	良好	良好
運営・利用状況	利用状況	良好
	市事業の実施	良好
	自主事業	—
施設管理状況	施設管理	良好
	備品管理	良好
	その他管理	良好
収支状況(円)	総収入	17,519,323
	内利用料金収入	—
	内指定管理料	17,496,200
	支出	16,361,628
	収支	1,157,695
市民利用者の声の反映	良好	良好
全体的評価	期待以上	良好
	職員は、指定管理となる以前から土岐川観察館の管理・運営に携わっているため、事業内容にも熟知しており、積極的な活動を行っている。 施設内の清掃・メンテナンスは常に行われている。屋外で活動する際には、安全面を重視し実施している。 職員数が限られているため、年間活動にも限界はあるが、関係機関(市民団体、自然団体、関係行政機関等)とのパイプが太いため、協働して実施できている。 今後も、土岐川流域を 中心とした自然を体験できる活動拠点として、実施運営に期待する。	・各駐車場施設における管理運営は良好である。 ・事故の対応については迅速で適切な処理がなされている。 ・管理運営に関する状況説明や対応方法など、常日頃から担当課と連絡を取りあう姿勢がみられる。
利用人数・前年度比増減率	延べ9,797人 (前年度比8.9%増加)	○自動車 一般利用:91,995件(前年度比3.9%減) 定期利用93,445件(前年度比0.6%増) ○自転車 一般利用:1,952件(前年度比9.7%増) 定期利用:3,372件(前年度比38.5%増)
増減の理由	館内イベント(特に講座)参加者増加を意識した企画を実施したこと、保育園幼稚園等の団体利用が増加したことによる。	自動車駐車場では一般利用が減少したが、定期利用は全体的に増加傾向であった。駅周辺の民間駐車場が増加したためと思われる。自転車駐車場では駅前の一般利用が増加したが、全体的には減少傾向であった。